



郡山市内をアピール行進する福島県民大集会参加者たち

17:30 なのに

連日会場大盛況

どうということ?

確定申告

「超勤を減らす」(長官)は空手形

全国から届く悲鳴、見えてきた超勤体質の根本原因

今年の確定申告の特徴の一つは、署内会場やプレハブ会場に限らず、4時受付終了の署外会場でも5時までに終わることができなかったこと。署長交渉では定時退庁日を守ると回答する一方で、「超勤をお願いすることもありますが」と長官回答をつくりの回答が目立ちました。5時までの入場を認めたため6時ないし7時まで会場を去れず、予定していた超勤での審査もままならない事態も生まれました。

これでは守れるわけがない定時退庁日、連日・長時間超勤規制

全国の声は

「早く受付を閉めてほしい」という職員の声を無視して5時までに入場を認めてきたツケが連日、長時間超勤を生む原因となっているようです。臨時応援の法人職員まで超勤前提で面接する始末で各署からの報告はそれを裏付けています。・4時受付終了「守れず外部会場も7時まで(東

京渋谷合同会場)。
・3月5日から来署者が増え長蛇の列。5時間間に職員大量投入も、4時以降の来署者を規制できない署は定時退庁日さえ守れない(東京各署)。
・3月7日4時で200人待ち。受付4時までだが番号札を持った人が5時間間際に入り終了は6時半(関信)。
・個人は定時退庁日以外連日7時(関信各署)。

・4時以降も受付し外部会場から帰署できるのは6時近く(名古屋)。
3時間超勤しても審査にさける時間は実質1時間強。しかも納税者に定着したのはe-Taxではなく3時以降来署なのは皮肉です。
作成コーナーパソコン終了で超勤増
認証プリンター使用が広がりました。その終了

日郵送開封で超勤、3時間超勤の署も(東京)。
・入力が遅れ一部職員が8時前に出勤し仕事に(関信)。
手順ではプリンター、親機、子機の順に落とすとあり、最後の一人の出力が終了するまで子機を落とせず、担当者の超勤時間にはさらに長くなりまし。分会からの要望を受けた東京地連の要請に3月8日ようやく東京局は「手順通りでなくともよい」と回答しましたが、「一部の職員に過重な負担をかける」という長官は、相談終了が業務終了ではない実態を知るべきです。
ともかく人手不足の管理運営部門
入力、開封などで人手が足りず、各署で個人課税職員が超勤応援や局から応援を受けました。
・定時退庁日はなく水曜

日でも郵送開封で超勤、3時間超勤の署も(東京)。
・入力が遅れ一部職員が8時前に出勤し仕事に(関信)。
手順ではプリンター、親機、子機の順に落とすとあり、最後の一人の出力が終了するまで子機を落とせず、担当者の超勤時間にはさらに長くなりまし。分会からの要望を受けた東京地連の要請に3月8日ようやく東京局は「手順通りでなくともよい」と回答しましたが、「一部の職員に過重な負担をかける」という長官は、相談終了が業務終了ではない実態を知るべきです。
ともかく人手不足の管理運営部門
入力、開封などで人手が足りず、各署で個人課税職員が超勤応援や局から応援を受けました。
・定時退庁日はなく水曜

制度で、各署の期中担当は相談をして納税額が出た納税者に「撤回届を送っています。トラブルになっている事例もあり、制度の欠陥が職員に押し付けられています。一人て四人五人の納税者を相手していると頭はパニックになり、「まだか」と聞いている納税者がストレスになります。しかも立ちっぱなしで、疲労困憊で足腰がガタガタ。半日交替の約束も反故にされています。
・外部会場は一日従事者立ちっぱなしに(全国)。
・巡回指導とPCコーナーが半日ずつ一日立ちっぱなし(関信)。
・一日、長時間面接で「殺される」実感(東京)。
年金所得者の所得税申告不要制度でトラブル
税理士無料相談でさえ誤りが多かった申告不要

「早くなんとかしてくれ!」
「近畿・北大阪支部」
1月6日に導入された新徴収システムですが、いまだに全面稼働には程遠い状況です。単に部分稼働だけでなく問題なのですが、他の事務と中途半端に関連しているため手作業による手直しが必要で事務上のロスが職員の負担となって重くのしかかっています。
新徴収システムの発想は、どうも職員の事務管理が最優先。来署したり電話をかけてきた滞納者との過去の処理経過の確認は迅速にすることがありますが、確認操作に時間を要しヒヤヒヤです。ソフト制作の基本発想自体に問題があるのでは?

「お持ちください」と書かれています。納税者のパソコンの理解度で指導方法を変えるためです。カードを取ることに気づかず受付から戻される納税者もいます。担当する職員も「入力できても申告は別」余計に時間がかかる」と言います。
職場の声
管理運営部門では

「納税証明や現金領収書は間違いが絶対許されない業務にもかかわらず、一方でスビドも要求されています。一生懸命やっているのですが証明で年分が3カ年もあるとどうしても時間がかります。頭の中では、請求者がイライラしながら待っている姿が浮かんでいるのです。
管理運営部門には、納税者からの電話が、ひっきりなしに架かっています。
よくある内容は「還付はいつ戻るか?」です。それならまだ良い方で、「申告書・納付書の用紙を郵送して」なども……。その都度本来の内部事務が止まってしまいます。

3月11日、東日本大震災から1年

原発なくせの声 全国に響きわたる

東日本大震災と東京電力福島第一原発事故から1年目の3月11日、全国各地で犠牲者を追悼し「被災地復興・原発ゼロ」を求める行動が取り組まれました。
被災地の福島県郡山市では、1万6千人が参加し「原発いらない! 福島県民大集会」が開催され、「放射能災害を繰り返すな」とアピール。東

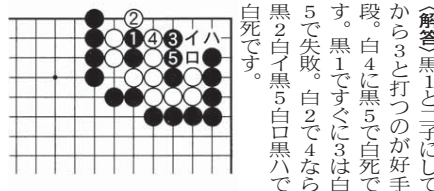
集会に8千人が参加。東京・日比谷公園の「東日本大震災市民のつどい」には4万人以上が参加するなど、この日、日本列島は原発ゼロを求める声が響きわたりました。
事故の原因がさえ明らかでない中で、再稼働を急ぐ政府・財界の動きを止めさせなければなりません。

「もう限界です。助けてほしい」と近畿地連に局員から「二通の投書」がきました。「毎日、夜遅くまで働かされ、定時退庁も形骸化しています。課全体が早く帰ることを許さない雰囲気、夜中に帰って少し寝たがまた会社、家族との会話がありません。悲痛な声です。職場全体で働きすぎ状態を跳ね返さなければどこかで犠牲者が出ます。」

「北海道地連」
確定申告会場では、今年から「習熟度別指導」が導入されています。受付の近くのカードボックスに「文字や数字の入力ができる」「文字入力できない」「数字入力できない」「使用したカードがない」の三種のカードが置いてあり、「いずれかのカードを取り、受付

申告收受事務を中心とした窓口事務を行っています。様々な納税者が訪れ緊張の連続です。
対応する職員の言動は、納税者の感情に直撃することから慎重になります。特に笑顔に心がけ、話し方はやさしく、鉄則。でないと納税者と一触即発の雰囲気になることもあります。

詰碁



「解答黒1と白2にしたら3と打つのが好手だ。白4に黒5で白死す。黒1ですぐに3は白5で失敗。白2で4なら黒2白1黒5白口黒ハで白死す。」